

なんだ・かんだ

◆ ガンについて① ◆

先日「ガン」についての講演を聴く機会があり、非常に興味深いお話しだったのでご紹介させていただきます。

人間の体は60兆もの細胞から出来ており、毎日8000億個もの新しい細胞が、細胞分裂により生まれています。この細胞分裂は細胞のコピーをしているわけですが、たまにコピーミスの不良品が出てきます。1日に5000個程度と言われているそうです。この不良品がガン細胞というわけです。どんな人間にも毎日ガン細胞が生まれてくるわけですが、普通は人間が持っている免疫細胞(リンパ球)がこの不良品を排除する仕組みになっています。基本的に全ての不良品が排除されますが、たまたまリンパ球が見つかることが出来ない不良品が増殖を続け20~30年経つとガンとして発現すると言うことです。発見されるまで長い時間が掛かるわけです。従ってガンは40歳を過ぎると非常に発症率が増え、長寿国ほど多く、アフリカの多くの短命国に至ってはガンが発病するまで他の病気で亡くなってしまふ為、ガン患者が少ないというわけです。日本がガン大国というのも世界一の長寿国なので当然と言うことも出来ますが、ゆゆしき事態です。

さて、日本では年間約100万人の方が亡くなり、その内32万人の方(3人に1人)が、65歳以上の方に至っては2人に1人がガンで亡くなっており、世界一のガン大国だそうです。

現在日本ではこのガンの死亡率が増えています。逆に欧米では減っていると言うことです。と言うのも、米国ではニクソン大統領の時代(70年代前半)にガン対策の法律が施行され、ガン撲滅に国を挙げて取り組んできたためです。日本では昨年阿部内閣時にガン対策基本法なるものが出来て米国に遅れること40年近くになってやっと国が取り組むことになったと言うことです。

米国での取組とは、国民はガン検査をし、ガンと診断されると登録され、その症状・治療方法・その後の経過を追跡します。乳ガンの検診率は、日本が15%に対し米国では90%ということです。この取組を30年以上続けガンの死亡率が低下してきたわけです。

何故日本のガン治療が遅れているかと言うと、日本人は「自分が死なない」と思っているからだそうです。核家族化が進み祖父母の死に直面することが少なくなった。'95以降自宅で亡くなる方よりも、病院で亡くなるの方が増えた。無宗教の方が多い。等々の理由で日本人は死というものに真正面から対峙することがなくなり、病気の予防の事など考えもしくなってしまったのです。

これが現在の日本におけるガンの現状ですが、ではその治療方法はどのようなのでしょうか?それは次月にお届けします。



去年と比べてどう?

西の方から梅雨入り宣言がされだし、来週は6月1日で衣替えです。今年もクールビズでいきます。ノーネクタイで営業させて頂きますが宜しく理解のほどお願いいたします。

さて、5・6・7月は諸団体の総会が集中する時期です。総会が「シヤン・シヤン」と執り行われ、懇親会で乾杯。広域な団体になると泊まりで開催されます。そんな中で色々な情報交換をする訳ですが、同業者であるけれども、営業エリアががぶらないので、変に隠し立てせずいろいろな相談ができることがあります。「今年はどうですか」といった会話が当然出てくる訳ですが、「去年はまあまあだったけれど、今年は厳しいね」という声がほとんどです。中には「去年よりいいね」という方もいます。なんとつらやましいことでしょう。しかし、指をくわえてみているだけではいられません。当社も上のクラスへ上がる様頑張っていきます。

最後になりましたが、先月号に掲載したように、今年も6月3日から4日間、東京ビックサイトで「環境展」に出展いたします。皆さん是非お出掛けください。当社ブースへお立ち寄りください。

代表取締役 服部 敏一郎

社員紹介

● 野毛 泰幸 ●

今回は、建設部第2グループリーダーの野毛泰幸(56歳)の自己紹介です。

建創企画グループの野毛と申します。入社四年目を迎え店舗や工場のリニューアル、住宅の増改築に奮闘中の56才です。

趣味はフォークギター。好きなスポーツはゴルフ。又チームプレイを伴う球技全般が好きです。家族は二女一男の5人家族で、子供たちも大学卒業後自分の望む道に進んでおります。末の息子は、私と同じ建築関係に携わることになり神奈川方面に勤めることになりました。これからは酒でも一献交わしながら建築談義でもできればと楽しみにしているところです。

最近は蕎麦打ちにはまっています。蕎麦を打つ事の楽しさ、人に食べてもらう楽しさが少しずつわかってきました。何よりも清潔さや気持ちを集中させ取り組むことが、一番大切な蕎麦打ちで有ります。こうしたきめの細やかさを仕事面にも取り入れられるように、工夫をこらした事に望んでいきたいと思っております。

今後とも宜しくお願い申し上げます



書籍紹介

「がんのひみつ」 中川恵一 朝日出版社

今回の「なんだ・かんだ」に書きました「ガン」のお話しをされた講師の本です。著者は、東京大学医学部を卒業され、現在同大学付属病院の放射線の准教授であり、1960年生まれで私と同年です。(関係ありませんが。)

ガンという病気を知らなさすぎる日本人に贈る「ガンの教科書」と言うコンセプトで非常に分かりやすく書かれています。単行本の高さを1/2にしたミニサイズの本です。是非ご一読下さい。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方につきましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com

URL <http://www.chikiri.com/>